

自転車安全運転 協力を

松山の交差点 松山学院高生ら啓発



高校生にチラシを手渡す松山学院自転車競技部員(左)＝12日午後4時50分ごろ、松山市天山1丁目

自転車の安全利用に関する理解を高めようと、県警バイシクルユニットの隊員や松山学院高校の自転車競技部員ら計26人が12日、松山市天山1丁目の天山交差点でチラシを配り、安全運転を呼びかけた。

県警交通企画課によると、両者が連携して啓発活動をするのは初めてで、自転車月間に合わせて実施した。ユニホーム姿の部員はヘルメット着用や左側通行などを促すチラシを学生ら

に手渡し、警察官は「安全運転の協力をお願いします」と注意喚起した。

3年の玉井葵妃さん(17)は「自分が事故に遭った時、ヘルメットが守ってくれた。みんなもヘルメットをかぶり、交通ルールを守ってほしい」と話した。

同課によると、今年県内で起きた自転車絡む交通事故は4月末までに123件(前年同期比7件減)あり、死者は3人(2人増)。県内の自転車事故の7割が

交差点で発生しており、神野圭一課長補佐は「一時停止や信号を守るなど基本的なルールを順守してほしい」と訴えた。
(小沢涼乃)